

取り付け方法

1 リーダーユニットの取り付け

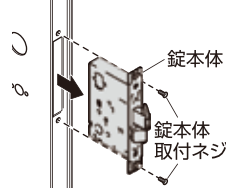
取り付け方法は、両面テープ取付型と柱取付型で異なります。

- 作業を行う前に、扉ごとに合わせてレバーハンドルを取り外してください。

1. 錠本体を取り外す

- 錠本体取付ネジを外します。

▼両面テープ取付型のみ



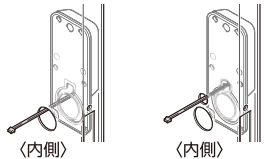
3. リーダーユニットの配線を通す

- リーダーユニットの配線を下図の通りに通します。

△ 配線を無理やり引っ張ったり、切断や損傷したりしないようご注意ください。

▼両面テープ取付型

〈LX タイプの場合〉 〈TX タイプの場合〉



▼柱取付型

〈内側〉



△ TX タイプで配線用の穴を設けられない場合は必ず専用のライナー付きシリンダーに交換ください。

5. 錠本体を取り付ける

- リーダーユニットの配線が錠本体の上を通るようにたるませてください。
- 錠本体の上を配線が通るように慎重に錠本体を取り付けます。
- 錠本体を取り付けたら、扉ごとに合わせてレバーハンドルを取り付けてください。

△ 錠本体で配線を挟み込まないように十分注意してください。

6. シリンダーを取り付ける

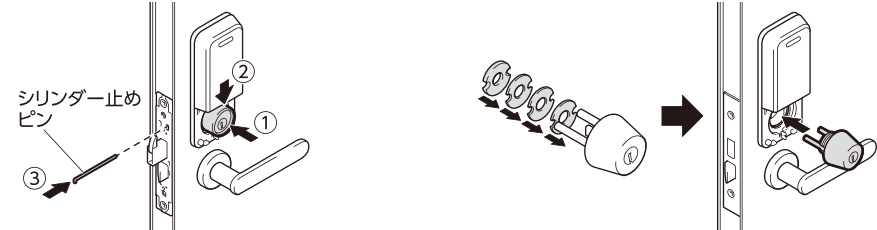
〈LX タイプの場合〉

- 取り外したシリンダーを取り付けます。
- シリンダー側のシリンダー止めピンを差し込みます。

※ クローズ型シリンダーカバーの場合は、ストラップを先に通してください。

〈TX タイプの場合〉

- 取り外したシリンダーにシルスペーサーを取り付けます。
 - 表*を参考に扉厚に合わせて使用するシルスペーサーの枚数を調整してください。
- ※ シルスペーサーの引き当て表は裏面の「図 取り付けに必要な資料、情報」をご参照ください。



2 サムターンユニット取付板の取り付け

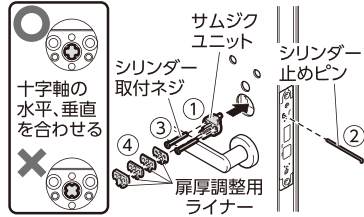
取付板は錠本体（LX、TX）により異なります。錠本体に合わせた取付板を選択してください。

- シリンダーの穴を通したリーダーユニットの配線を挟み込まないように注意して取り付けてください。

▼LX タイプ

1. シリンダーにサムジクユニットを取り付ける

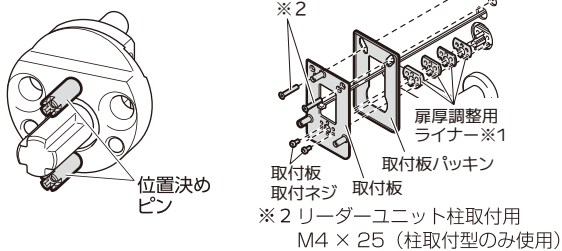
- サムジクユニットにサムターン側のシリンダー止めピンを差し込みます。
- 表*を参考にネジ（1）を選択し、サムジクユニットをシリンダーに固定します。
- 扉厚に合わせて使用する扉厚調整用ライナー*の枚数を調整してください。



2. サムターンユニット取付板を固定する

- サムジクユニットの位置決めピンを合わせて取り付けます。
- 表*を参考にネジ（2）を選択し、取付板をサムジクユニットに固定します。

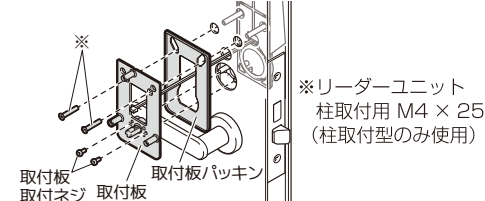
※ 1 扉厚調整用ライナーの引き当て表は裏面の「図 取り付けに必要な資料、情報」をご参照ください。



▼TX タイプ

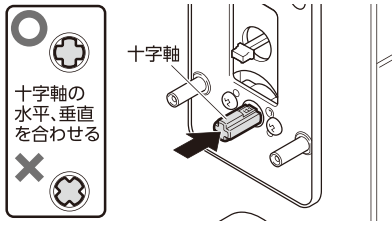
1. サムターンユニット取付板を固定する

- 取付板を M4 × 12 のネジ 2 本（カラーシールなし）でシリンダーに固定します。



2. 扉厚に合わせて十字軸を調整する

- 十字軸を奥に当たるまで押し込んでください。



▼LX タイプ / TX タイプ 共通

3. 取付板および取付板/パッキンが扉に密着して固定されていることを確認する

- 取付板の取り付け後、指で取付板/パッキンを押し、取付板/パッキンがずれたり、動いたりしないことを確認してください。

△ 取付板/パッキンがずれたり、動いたりする場合は、取付板と扉の間に隙間があります。扉厚調整用ライナーの枚数を減らす（厚みを減らす）などして、取付板/パッキンが密着して固定されるように取付板を取り付けてください。また、2 ロックセット（オプション）の下側サムターンユニットについても、同様に取付板を取り付けてください。

■ 2 ロックセット（オプション）の取り付けについて

「サムターンユニット取付板の取り付け」に従い上側と下側とも取付板を取り付けてください。

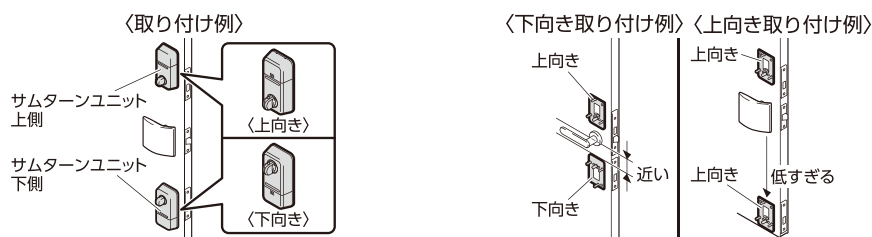
- ※ サムターンユニット上側、下側については「各部の名称」の上下ラベルをご確認ください。

▼下側サムターンユニット取付板の取り付けについて

「既存部品の取り外し」に従い、既存のシリンダーとサムターンを取り外してください。

- 下側にリーダーユニットはありません。既存のサムターンを取り外し、サムターンユニットを取り付けます。
- 下側サムターンユニットは、上側との無線ベアリングにより運動して作動しますので、配線等の接続はありません。

取り付けの向きは、ハンドルの位置や扉の意匠、お客様の要望に合わせて取り付けてください。



3 サムターンユニットの取り付け

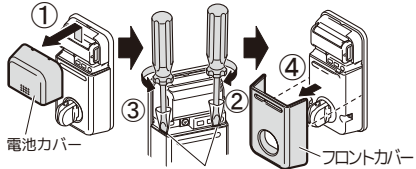
取り付け、固定を行う前にリーダーユニットの配線をサムターンユニットに接続してください。

- 取り付け方法はすべて（オプションを含む）共通になります。2 ロックセットについては取り付けの向きに合わせてください。

△ サムターンユニットを取り付ける前に、サムターンを何度も回さないでください。故障の原因になります。

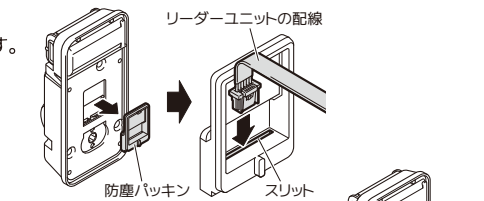
1. サムターンユニットのカバーを取り外す

- 電池カバーを浮かしてから、前方向に取り外します。
 - フロントカバーの切り欠き 2 箇所にドライバーを順番に差し込んで動合を外し、前方向へ取り外します
- ※ 傷付き防止のため先端に布などを巻いてください。



2. リーダーユニットの配線を防塵/パッキンのスリットに通す

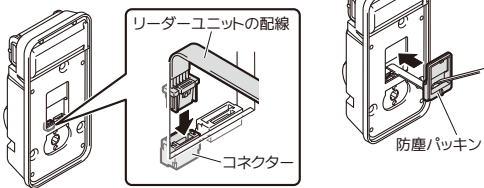
- サムターンユニットの防塵/パッキンを取り外します。
 - リーダーユニットの配線を防塵/パッキンのスリットに通します。
- ※ 向きに注意してください。



3. リーダーユニットの配線を接続する

- サムターンユニット左側（背面視）のコネクターに接続してください。

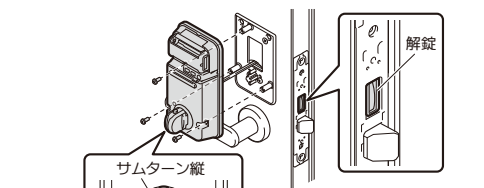
△ 余った配線が可動部や取り付け部に干渉しないよう注意して収納してください。



4. 防塵/パッキンを取り付ける

- サムターンユニットに防塵/パッキンを取り付けます。

△ 防塵/パッキンが確実に取り付けられていることを確認してください。



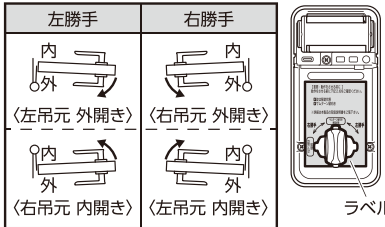
5. サムターンユニットを固定する

- 取り付け前にサムターンの向きが縦で扉が解錠状態になっていることを確認してください。
- サムターンユニット本体固定用 M3.5×10 ネジ 3 本で取付板に固定します。



6. 右勝手、左勝手を設定する

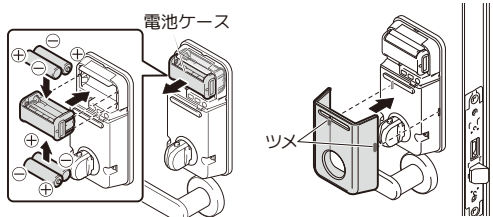
- 右図を参考に右勝手、または左勝手を確認してください。
- 扉を一度閉めてからラベルに従い、右勝手、左勝手方向にサムターンを回します。
- 右勝手、左勝手の初回設定時は、サムターンを回すときに重いことがあります。
- 右勝手、左勝手の設定が終了したら、ラベルを剥がしてください。



7. 電池を取り付ける

- 電池ケースを取り外し、極性マークに合わせて側面から取り付けてください。
- 設置する地域が寒冷地の場合は、単三リチウム乾電池（別売）を必ずご使用ください。

△ 新旧、および異なる種類（アルカリ、マンガンなど）の電池を使用しないでください。故障の原因となります。



8. フロントカバーを取り付ける

- ツメの位置に合わせてフロントカバーを取り付けます。
- 確実に取り付けられたことを確認してください。



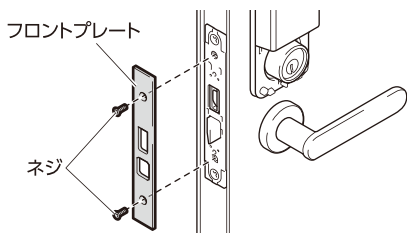
4 各種カバーの取り付けと作動確認

取り付けが完了したら、各種カバーの取り付けと初期設定、および作動確認を行ってください。

1. フロントプレートを取り付ける

- 取り外したネジ 2 本で固定します。

▼LX タイプのみ



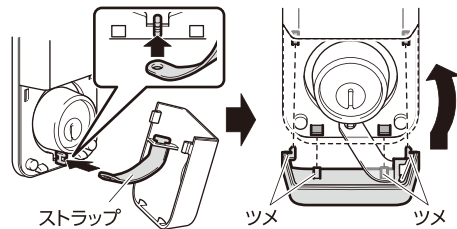
2. リーダーユニットシリンダーカバーを取り付ける

▼クローズ型*

※ 次のシリンダーはクローズ型を取り付けることができません。

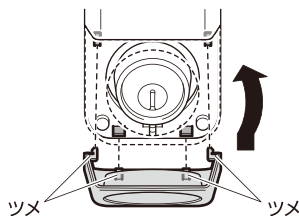
- ・TX タイプのシリンダー
- ・LX タイプの GV シリンダーで扉厚 36mm 未満の場合

- カバーにあるストラップをリーダーユニットに取り付けます。
- ツメの位置を下側から合わせて取り付けてください。



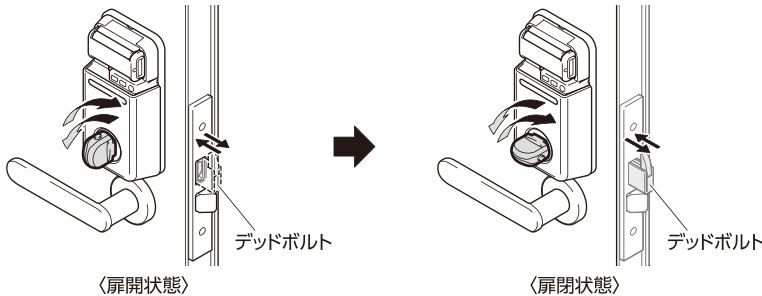
▼オープン型

- ツメの位置を下側から合わせて取り付けてください。



3. 施解錠動作の確認を行う

- サムターンを操作してスムーズに施解錠操作できるかの確認を行います。
- 扉開状態、扉閉状態で施解錠操作を行い、デッドボルトが引っかけることなく正常に動作することを確認してください。



4. 電池カバーを取り付ける

- 下側のツメ 2 箇所を合わせて取り付け（①）、（②）の方向にスライドさせてツメ 3 箇所を吻合させます。
- すべての部品が確実に取り付けられていることを確認してください。

